

愛媛県における『空の移動革命』 実現に向けた推進ネットワーク ～令和7年度勉強会～

1 開 会

2 挨拶・趣旨説明

3 講演等

- (1) 愛媛県における空飛ぶクルマに関するこれまでの取組みについて 愛媛県
- (2) 空飛ぶクルマについての大洲市における取組み 大洲市
- (3) 社会実装フェーズに入った空飛ぶクルマ
—AirXの事業と実証から見るeVTOLの可能性— 株式会社AirX
- (4) 空飛ぶクルマポート運営の事業化検討について オリックス株式会社
- (5) 質疑応答及びディスカッション

モデレーター：株式会社日本政策投資銀行

4 閉 会

オンライン参加の皆様においては、マイク・カメラをOFFにさせていただきますようお願いいたします。



愛媛県における空飛ぶクルマに 関するこれまでの取組みについて 2026年2月



そもそも「空飛ぶクルマ」とは？

空飛ぶクルマ = 電動垂直離着陸機 (eVTOL)

▶ 電動

- ・ 部品数削減による機体価格・整備費用の低減
- ・ (ヘリコプターと比較した際の) 静音性

▶ 垂直離着陸

- ・ 離着陸場所の自由度向上 (ビル屋上や被災地など)

▶ 自動 ※将来的に

- ・ 安全性と省人化の両立

▶ 社会課題解決や地域活性化の手段になり得る

愛媛県の過疎・離島の状況

過疎地域の状況

○法指定の過疎地域を含む市町
20市町中17市町

人口：310,841人（県の23.3%）
面積：3,737.46km²（県の65.8%）

【地域の抱える課題】

- ・人口、特に若年者層の流出
- ・高齢化が著しく進行
- ・地理的条件が不利
- ・社会基盤整備の遅れ
- ・空き家、遊休施設等の増加

※人口、面積は令和2年国勢調査から。

離島の状況

○法指定の離島振興地域
7市町9地域、**有人離島31島**

☞長崎、沖縄に次いで
全国3位

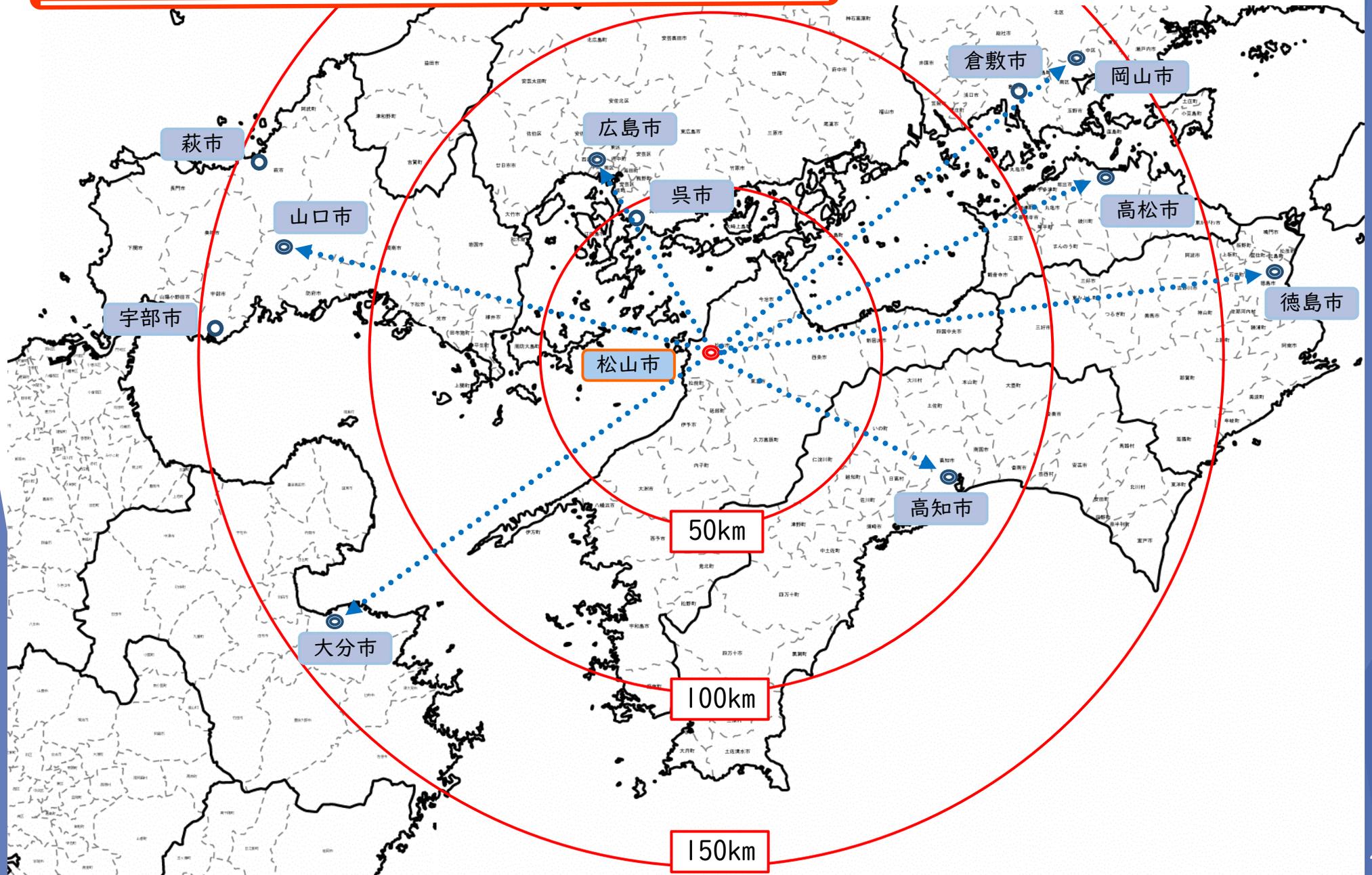
人口：11,671人（県の0.9%）
面積：90.40km²（県の1.6%）

【地域の抱える課題】

- ・過疎化、高齢化が著しく進行
- ・地理的条件が不利
- ・人や物の移動手段の維持
- ・災害時の避難・孤立防止対策

※人口は令和2年国勢調査、
面積は令和6年4月国土交通省資料から。

愛媛県と近隣県との位置関係



愛媛県のこれまでの取組み状況

▶ 令和4年度

- ・「空飛ぶクルマ」関連企業等訪問（5月：東京都）
- ・シンポジウムの開催（7月）
- ・勉強会の開催（12月、3月）
- ・実機「HEXA」有人実証飛行（3月）
- ・先進県視察（8月：三重県）
- ・全国自治体ネットワーキングへの参加（9月：東京都、1月：三重県）



シンポジウムの開催 (令和4年7月)

- ▶ 愛媛県が「空飛ぶクルマ」の社会実装に向けた取組みを開始することを発表
- ▶ 四国経済産業局
慶應義塾大学大学院SDM研究科
デロイトトーマツコンサルティング
日本航空
SkyDrive
セイノーHD を講師にお招きした講演
- ▶ 愛媛県版ロードマップを公表
- ▶ 推進ネットワークを立ち上げ、幅広く参加を呼びかけ

Advanced Air Mobility SYMPOSIUM

愛媛県における 空の移動革命 シンポジウム



※世界初の空飛ぶクルマのイメージ
（仮定車体デザインを加工して作成）

「空飛ぶクルマ」の実用化は、決して遠い未来のことではありません。多くの社会課題を抱える地方において、通勤・通学交通、緊急医療、災害救助、観光、観光、物流などに大きな役割を果たすとともに、新たなビジネスを創出することが期待されています。愛媛県における「空の移動革命」実現に向けた第一歩を踏み出すため、県民の皆様の理解促進と機運醸成を目的として、シンポジウムを開催します。

日時	令和4年	7月20日	水	13:00~15:40 (12:30開場)
会場	愛媛県県民文化会館 メインホール 愛媛県松山市道後町2丁目5-1			
定員	会場	500名	オンライン	定員なし
参加方法	愛媛新聞社ホームページ内、専用フォームよりお申し込みください。二次元コードからアクセスできます。 ※お申し込みいただいた個人情報は愛媛県の発表や掲載利用の目的、当日の受付などに使用します。			

新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、完全オンライン視聴方式となる場合がありますので、ご来館前には、HPをご確認ください。



愛媛県 県民文化会館
メインホール

至道後温泉 →
松山市町郵便局
松山東警察署
松山東高校
至松山市役所
↓至松山

お問い合わせ

愛媛新聞社営業局「愛媛県における空の移動革命シンポジウム」係

TEL 089-935-2322 (平日9:00~17:00) FAX 089-941-8111
メール kikaku-soramobi@ehime-np.co.jp

主催 / 

共催 /  日本政策投資銀行
Development Bank of Japan

後援 /  四国経済産業局
Economic Bureau of Shikoku, Ehime, Kochi and Tokushima

 Dream On

愛媛県のこれまでの取組み状況

▶ 令和5年度

- ・ 運航ルート等調査事業の実施（6月～6年2月）
- ・ ワークショップの開催（6月）
- ・ 全国自治体ネットワーキングへの参加（9月：長崎県、2月：山梨県）
- ・ AAM 広域実装 行政ネットワーク（瀬戸内エリア）第1回への参加（11月）
- ・ 勉強会の開催（10月、2月）

▶ 令和6年度

- ・ 【今治市共同】離発着場候補地環境等調査事業（9月～7年2月）
- ・ 香川県の空飛ぶクルマ実証飛行の視察（9月）
- ・ 空飛ぶクルマ自治体ネットワーキングへの参加（北海道：9月）
- ・ 勉強会の開催（2月）

愛媛県のこれまでの取り組み状況

▶ 令和7年度

- ・ 【大洲市共同】実証飛行を含む機運醸成事業の実施（7月～7年2月）
- ・ 新モビリティサービス（空飛ぶクルマ含む）を対象とした補助金の創設
- ・ 全国自治体ネットワーキングへの参加（9月：愛知県）
- ・ 県内市町向け勉強会の開催（10月）
- ・ 勉強会の開催（2～3月予定）



愛媛県の「空飛ぶクルマ」の取組み計画

	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)~
海外の動き		海外企業が機体認証取得		欧米大都市で旅客輸送サービス開始		各国で実装が進展			
日本の動き	試験飛行・実証実験等			大阪・関西万博で商業サービス開始			都市・地方における商用運航・サービスエリア拡大		
		法制度整備、離着陸場整備、技術開発、社会受容性向上等							

愛媛県の取組み

空の移動革命の取組開始

物の移動

人の移動

運航ルート等調査事業

★ 離発着場候補地環境等調査事業

①物流ドローンの実証実験(誘致)

新しいビジネスの創出

①物流ドローンによる輸送の開始

②空飛ぶクルマの実証実験

②空飛ぶクルマによる人の輸送の開始

- シンポジウムの開催
- 推進ネットワークの構築、運営
- 住民の理解促進
- 市町の理解促進・参画促進
- 事業者の理解促進・参画促進

機運醸成、理解促進、関係者の連携強化

地域・事業者のニーズ把握、実証実験の誘致

課題の把握・整理、ビジネスモデルの調査

事業所マッチング、実証実験のサポート

各種インフラの整備、人材の育成・・・

<2020年代後半>
空飛ぶクルマの商用運航を目指す！

県内の推進ネットワークの構築

空飛ぶクルマを広く普及させるには、地域社会の理解を得ることはもとより、
運航事業をはじめとする様々な事業の提供が必要であることから、
幅広い関係者の参画を得て、社会実装を推進するネットワークの構築を図ります。



運航ルート等調査事業の実施 (令和5年6月～令和6年2月)

▶ 愛媛県における運航ルート案を調査

①県内外を結ぶルート

②県内を結ぶルート

③離島・半島・中山間地域など交通不便地帯での活用ルート

の3種類を調査し、県内全域を結ぶ空の交通ネットワーク
をイメージしてもらう

▶ 株式会社長大様に委託

▶ 第5回勉強会において調査結果を発表

運航ルート等調査事業の実施 (令和5年6月～令和6年2月)



離発着場候補地等環境調査事業の実施 (令和6年9月～令和7年2月)

- ▶ **今治市と共同で実施。** 令和5年度の調査結果から、有力な候補地の一つと考えられる今治市の島しょ部における離発着場の整備等に関して、社会実装に必要な事項を調査。
- ▶ (1) 離発着場の整備等に必要な事項の調査
- ▶ (2) 具体的な飛行経路の設定等に必要な事項の調査
- ▶ (3) 運航事業者等へのヒアリング
- ▶ (4) 事業化に向けた課題等の整理
- ▶ 第6回勉強会において調査結果を発表

離発着場候補地等環境調査事業の実施 (令和6年9月～令和7年2月)

～愛媛県・今治市における「空飛ぶクルマ」の実装ストーリー～

次世代空モビリティの社会実装に向けた実現プロジェクト（ReAmoプロジェクト）の全体アーキテクチャーならびに、今治市が有する観光資源と今治市の地理的要件を考慮し、遊覧飛行事業を足掛かりとして、ゆくゆくは大規模経済圏の往来の中継機能を担うことが期待できます。

フェーズ1：
遊覧 (A to A)
飛行距離：～10km

出展：経済産業省ウェブサイト



<事業コンセプト>

アセットを極力持たないスモールスタートで事業を行い、しまなみの多島美や穏やかな気候を強みとした遊覧需要の掘り起こしと、さらなる事業拡大を目指したビジネスモデルの検証を行います。

<想定運用>

場外離着陸場を整備し、多くの需要が見込まれる時期に限定して事業を行います。



(↑)フェーズ1：場外離着陸場のパース

ワクワクするね！



フェーズ2：
遊覧 (A to B)、空港等との接続
飛行距離：～30km



<事業コンセプト>

フェーズ1で掘り起こした空飛ぶクルマを活用した遊覧需要を強化しつつ、二地点間移動の需要を掘り起こすため、空港等との既存交通結節点の連携拠点を設けます。

<想定運用>

パーティポートを建設し、通年運航可能な環境を整備し、需要開拓を行います。



(↑)フェーズ2：パーティポートのパース

便利なんやね～



フェーズ3：
大規模経済圏の往来の中継機能
飛行距離：～100km



<事業コンセプト>

二地点間移動の需要を強化しつつ、瀬戸内海の真ん中に位置するという地理的強みを背景に、関西圏と九州圏を結ぶ路線の充電・休息需要を取り込み、価値があり、なおかつユニークなポジションを築きます。

<想定運用>

パーティハブを建設し、中継機の入力能力を強化しつつ、機体の整備事業といった新たな収益の柱を展開することで、パーティハブを起点とした新たなまちづくりに繋がります。



(↑)フェーズ3：多頻度運航を支えるパーティハブのパース

©2024 CHCDAI CO., LTD.

「空飛ぶクルマ」運航実現に向けた 機運醸成事業の実施（実証飛行）

- ▶ 南予地方での機運醸成に向け大洲市と共同で実施。
 - ・ 実証飛行を Air X に委託
 - ・ 令和7年11月3日（月・祝）に実施
 - ・ 使用機体：EH216-S（EHang社のマルチコプター機）
 - ・ 離着陸場での垂直上昇及び河川上を無人で飛行
 - ・ 地上での搭乗体験や、記念撮影を実施

愛媛県大洲市における 空飛ぶクルマ実証飛行



2025年
11月3日（月・祝）

会場

愛媛県大洲市肱北緑地多目的グラウンド
（大洲まつり「おまつり村」会場横）
※車で来場の際は「おまつり村」駐車場を
ご利用ください。

飛行スケジュール

① 10:15	各回、説明と フライトをあ わせて約20分 を予定
② 12:30	
③ 14:30	

イベント概要

- 飛行見学
最大3回の飛行を予定！
- VR体験
VR動画で飛行を体験！
- 搭乗&写真撮影
地上展示中の機体に搭乗できます！



【飛行機体】
EH216-S：EHang社のマルチコ
プター機

<留意事項>

- ・ 飛行にあたり関係当局と調整中です。
- ・ 天候等によりイベント内容・時間が変更又は中止になる可能性があります。

<主催>愛媛県、大洲市 <実証飛行委託先>株式会社AirX

<協力>大洲青年会議所、株式会社社長大

【お問い合わせ先】愛媛県企画振興部政策企画局地域政策課交通政策室
TEL:089-912-2251 Mail:koutsuseisak@pref.ehime.lg.jp
大洲市環境商工部観光まちづくり課
TEL:0893-24-1717

まとめ

- ▶ 万博でのデモ飛行により注目を集めたその後、どのように社会実装に繋がっていくのか。最新の国の動向や事業者の取り組み、県や市町の活動状況等を、推進ネットワークの勉強会の開催を通じて周知・啓発することで、空飛ぶクルマへの理解促進と参入意欲の醸成を図る
- ▶ 県内外の自治体、関係機関との連携強化
 - ⇒現に取り組みを行っている地域のみならず、県内の他地域も含めて「空飛ぶクルマ」の取り組みを広げる
 - ⇒近隣県や関係機関との連携を強化し、広範囲での社会実装の促進を図る